

題材展開の概要（全 1 2 時間）

自分の生活と重ねた追究を促す指導

学 習 問 題	○学習活動	予想される生徒の反応	指導・【評価】	時間
1 各地の住まいを知ろう。	○どんな家に住みたいか考える。 ○世界の住まいや自分の住んでいる地域の住まいについて、どのような特徴があるかを知る。	・広い家 ・きれいな家 ・好きなことができる家（プール、バスケットゴール） ・安全な家 ・気候によって住まいが変わってくるのだな。 ・文化がちがうと住まいについての考え方もちがう。 ・私たちの住んでいる安曇野の住まいにも気候や文化による特徴がある。	○「どんな家に住んでみたいですか」と問い、自分の住みたい家をイメージさせる。【関・意・態一ア】 ○各地の住まいの写真を紹介しながら特徴や違いを考えるように促し、気候や文化によって住まいが工夫されていることに気づかせる。 ○「私たちの住んでいる安曇野の住まいにはどんな特徴があるか」と問い、気候や文化に合わせて住まいが考えられていることに気づかせる。【知識・理解一ア】	1
	○文化による住まいの違いについて知る。	(和式) (洋式) ・畳 ・フローリング ・床 ・イス ・すだれ ・カーテン ・文化による考え方による違いが大きい。	○違いがわかりやすい和式と洋式についてそれぞれの特徴を考えさせる。 ○「自分の家はどうか」と問い自分の家を想起して、和式と洋式の良さを考え合うことができるようにする。【知識・理解一ア】	2
2 住まいの空間について考えよう。	○住まいの空間と家族の生活行為とのかかわりについて考える。	・カツオとワカメの部屋は、勉強をしたり、寝たりする部屋 だと思う。茶の間では、家族 が団欒したり、食事をしたり していたな。 ・住まいの中で、様々な生活行為をしているな。 ・	○サザエさん一家の人と生活している部屋の関係を考えることで、生活している部屋の関係を考えることで、生活行為と住空間について関係を考えることができるようにする。【関・意・態一イ】	3
	○家族と住まいの空間について考える。	・一人暮らしをしていた祖母だから、一人部屋がいいのではないか。 ・祖母が家にいる時間が長いので、日当たりの良い洋間を祖母の部屋にしました。 ・住む人の性別や年齢、家族構成によって住まい方は変わって来るんだな。	○サザエさんの家とモデルケースを比較することで、どんな目的でその家が造られているか考えることができるようにする。【関・意・態一ウ】 【工夫・創造一ア】	4
3 健康で快適な室内空間を考えよう。	○快適な住まいはどんな住まいか考える。	・整理・整頓されていてスッキリしていて気持ちがいい。 ・日当たり、風通しがよい。 ・湿度や音も大切なのか。 ・騒音計で音量を測りたい。	○各班の発表を聞き合うことができるようにする。【工夫・創造一ア】	5
	○校内の照度・騒音を調べ、快適な室内空間を考えよう。	・音楽の授業があると60db以上あったな。自分の部	○快適な住まいについて自分の家を想起して考えようと問うことで、健康で心地よく住むための室内条件を考えることができるようにする。【知識・理解一ウ】 ○音や湿度を測る器具を紹介することで、数値で比較で	6

【学習ノート活用事例 衣生活・住生活4】

		<ul style="list-style-type: none"> ・家では、安全対策あるのかな？お家の人に聞いてみたいな。 ・食器棚など倒れるものや落下に関係して高い位置に物が無いかは、忘れずに見てきたい。 	<p>○お家の人にもインタビューしながら自分の家の危険箇所調査と安全対策を調査しようとして、次時の課題を把握できるようにする。</p>	
	<p>○家で調べたことを班で発表し合い、それを参考に自分の家の対策を計画する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食器棚が倒れてきたら、割れ物もあるし怖いと言っていた。 ・自分の家は、非常持ち出し袋以外の対策はしていなかった。 ・あの透明なものは何かな。 ・食器棚には、飛散防止フィルムを貼っておくとよいのか。 ・あの金具は、どんな風を使う物なのかな？ ・扉が地震の震動で開かなくなるような物なのか。転倒対策だけでなく、ガラス扉への対策をしたい。 ・〇〇さんの家のようにL字金具で留めて安全にしたい。 ・おばあちゃんの部屋も対策をやってあげたいな。 	<p>○お家の方の怖がっていたことはどんなことかと問うことで、発表への意欲をもてるようにする。</p> <p>○友達の家の安全対策だけではまだ解決できない危険箇所があるか発表を促し、全体で考えることができるようにする。また、生徒から出てこなかった対策があれば、グッズを見せ、どんなことに使うものか問うことで、対策の原理を考えることができるようにする。</p> <p>○発表したり考えあったりすることを通して、我が家の危険箇所を工夫し、家庭実践の計画を立てることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【工夫・創造一ウ】 【関・意・態一オ】</p>	10
				家庭実践
6	<p>住まいと自分の関係について考え、住まいのまとめをしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家の役割は、私たちが生活や成長する上で重要な場ということがわかった。また快適に安全に暮らす為に、音や湿度、安全対策という視点を大切にしていきたい。 	<p>○「今までの住まいの学習を振り返り、わかったことや疑問に思うこと、自分の住まい方に関する考えをまとめよう。」と促すことで、住まいの学習を振り返る。【知・理一ア～エ】</p>	11
	<p>○実践結果をレポートにまとめグループで発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇をやってみて、自分が考えてやったことが家族からとても感謝され嬉しかった。これからも家族と命を守る住まい方を考えて生活したい。 	<p>○実践レポートをもとに班で発表するよう促す。</p> <p style="text-align: right;">【関・意・態一オ】</p>	12